

4 「第 67 回 近畿放送教育研究大会兵庫大会 小学校部会」

(1) 日時 平成 30 年 11 月 22 日 (木) 9:35~16:20

(2) 場所 神戸市立井吹の丘小学校

(3) 研修会内容

① 大会研究主題

自ら 高まる 深まる 学びの力の育成

— I C Tを活用できる次世代の子供・学校の創生—

② 小学校部会研究主題

触れて 自ら 高まる 深まる 学びの力の育成

— I C Tを活用できる次世代の子供・学校の育成—

③ 研修内容・所感

神戸市立井吹の丘小学校にて開催された「第 67 回近畿放送教育研究大会兵庫大会小学校部会」に参加させていただいた。神戸市内から少し離れた緑の多い静かな場所にある学校である。神戸市では 16 年ぶりとなる新設校で、周囲の西神南ニュータウンは、現在も街づくりが続き、海外を含む様々な土地から転入してきた人々によって町が構成されているようである。

まず、驚いたのは、全教室の前面に、壁掛けプロジェクタ、黒板に設置できるスクリーン、書画カメラ、TV、コンピュータが設置されていたことである。松山市内の小・中学校にある 50 インチのTVよりも大きくて見やすいと感じた。時間の関係で6年生と4年生しか参観することができなかったが、それぞれの学年でタブレット端末、SKYMENU を用いた授業を行っていた。

ア 6年生 社会科「平和で豊かな国をめざして」

戦後と現在の工業地帯の写真を見比べ、環境問題や経済の発展などを自分たちで考えさせるという授業である。高度経済成長は、我が国にとってどうだったかを、環境や経済の対立する立場で話し合う。二人で1台のタブレット端末を使い、ペアで自分たちの主張する資料をインターネットで探し出し、SKYMENU のノート機能を使ってプレゼンテーションを完成させていた。機器の扱いにもなれており、話し合いのツールとして、I C Tが効果的に機能していた。



イ 4年生 国語科 「漢字しりとり」

ペアで1台のタブレット端末を使い、SKYMENU を使って漢字のしりとりクイズを作成していた。ペアだったので苦手な児童も安心して作業できていた。

その後の研究協議では、各県の I C T事情についての報告などがあった。淡路島では、3年生以上は全員自分専用のタブレット端末を持っており、中学校まで持ち上がるということに驚いた。

